

内令員

一九二二

内令員第八百八十六號

昭和十九年内令員第八百二十三號中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「第四南遣艦隊司令部」ヲ「南西方面艦隊司令部」ニ改ム

参照 前記内令ハ第四南遣艦隊司令部(マヌタワリニ於ケル機帆船ノ造修ニ従事セシムベキモノ)ニ人員臨時増設ノ件ナリ

0590

内令員第八百八十七號

昭和十八年内令第二千四百號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年五月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ領海警備府(人事部設立準備ニ充ツベキモノ)等ニ人員臨時増設ノ件ナリ

内令員

一九一三

0591

内令員

一九二四

内令員第八百八十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年五月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀防備隊

主計兵曹、主計兵

十人 (掌理兵  
掌衣糧兵 一)

0592

内令員第八百八十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年五月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

館山海軍砲術學校(化兵班講習關係要員ニ充ツベキモノ)

兵 曹 (教員) 四人(掌砲兵 高) (横須賀、吳、佐世保 各二)

館山海軍砲術學校(戰車講習關係要員ニ充ツベキモノ)

大 中 尉(水) 教官兼分隊長 三人(横須賀、吳、佐世保鎮守府在籍者 各二)

中少尉(水)、兵曹長 附兼教官(教員) 四人(横須賀、吳鎮守府在籍者 各二)

中少尉(工)、工作兵曹長 附兼教官(教員) 一人(吳鎮守府在籍者)

兵 曹 (教員) 二十一人(掌砲兵 高) (横須賀、吳鎮守府在籍者 各七)

内令員

一九一五

0593

内令員

一九一六

内令員第八百九十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十九年五月十日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十九年五月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍航空技術廠(飛行實驗部ニ充ツベキモノ)

整備兵曹、整備兵

五十人

(掌整備兵  
掌航空兵器兵)

(射撃  
雷爆)

(三〇  
一六四)

0594

内令提  
要登載

内令員第八百九十一號

特設驅潛艇第三拓南丸、第八拓南丸、大井丸、多摩丸、第六玉丸及第七玉丸職員表左ノ通定ム

昭和十九年五月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設驅潛艇第三拓南丸、第八拓南丸、大井丸、多摩丸、第六玉丸及第七玉丸職員表

特設掃海艇定員表中蒸汽機關ノモノト同一トス(特修兵共)但シ掃海艇長ハ驅潛艇長トス

(内令提要別冊八八二頁参照)

内令員

一九一七

0595

内令提  
要登載

内令員

一九一八

内令員第八百九十二號

海軍定員令中左ノ通改正セラレ

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等潜水艦定員表其ノ二ノ二中「第三百六十一、」ノ下ニ「第三百六十二、」ヲ加フ  
同表中第三百六十一乃至第三百六十九ノ欄機關兵曹「七」ヲ「八」ニ、水兵「八」ヲ「十二」ニ、  
機關兵「十一」ヲ「十三」ニ、下士官「十九人」ヲ「二十人」ニ、兵「三十一人」ヲ「三十七人」  
ニ改ム

(内令提要別冊三八〇頁参照)

0596

内令  
第八百九十三號  
特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

内令員第八百九十三號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十六中「第三百六十一、」ノ下ニ「第三百六十二、」ヲ加フ

同表中第三百六十一乃至第三百六十九ノ項掌砲兵普ノ欄「一」ヲ「二」ニ、掌機雷兵水測ノ欄「一」

ヲ「二」ニ、掌帆兵普ノ欄「〇」ヲ「二」ニ、掌電機兵蓄電ノ欄「四」ヲ「五」ニ改ム

(内令提要別冊四九八頁参照)

内令員

一九二九

0597



内令提  
要登載

内令員

一九二〇

内令員第八百九十四號

海軍定員令中左ノ通改正セラレ

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等潜水艦定員表其ノ三中「第十」ノ下ニ「第十二」ヲ加フ

(内令提要別冊三八四頁参照)

0598

内令  
登載

内令員第八百九十五號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十六中「第十」ノ下ニ「第十二」ヲ加フ

(内令提要別冊四九九頁参照)

内令員

一九三二

0599

内令員

一九三

内令員第八百九十六號

昭和十九年内令第百七十四號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ驅逐艦冬月ニ當分ノ開定員ヲ置カザル件ナリ

0600

内令  
要登

内令員第八百九十七號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等輸送艦定員表中「第四號」ノ下ニ「第五號、第六號」ヲ加フ

(内令提要別冊四〇三頁参照)

内令員

一九三三

0601

内令員第八百九十七號 (後送ス)

内令員第八百九十八號

昭和十七年内令第千三百六十八號中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「看護兵曹、看護兵 一人」ヲ削ル

参照 前記内令ハ東京海軍通信隊等ノ人員臨時減員ノ件ナリ

内令員

一九二五

0602

内令員

一九二六

内令員第八百九十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第百三海軍軍需部（糧食現地生産要員ニ充ツベキモノ）

技師 附 臨時七人

技手 附 臨時三十二人

0603

内令員第九百號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第五海軍建設部

第三十海軍建設部

書記 附 臨時一人(燃料需品整理調査主任ニ充ツルベキモノ)

内令員

一九二七

0604

内令員

一九二八

内令員第九百一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

高雄海軍軍需部（前線派遣徴用員關係事務ニ充ツベキモノ）

書 記 附 臨時二人

0605



内令員第九百二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍航海學校

技術科尉官 教官 一人

内令員

一九三九

0606

内命員

一九三〇

内命員第九百三號

昭和十九年内命第二百五十七號中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

末尾ニ左ノ如ク加フ

技 手 造兵監督助手 兼務三人(第六十一海軍航空廠附ノ兼務)

参照 前記内令ハ海軍航空本部ニ人員臨時増設ノ件ナリ

0607

内令  
要登載

内令員第九百四號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十七ノ二一等輸送艦ノ部中「第四號」ノ下ニ「第五號、第六號」ヲ加フ

(内令提要別冊五〇三頁参照)

内令員

一九三二

0608

内令員

一九三二

内令員第九百五號

昭和十九年五月二十五日  
ニテ本號原止

吳鎮守府在籍

第五號輸送艦

第六號輸送艦

右當分ノ間定員ヲ置カズ

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0609

内令員第九百六號

昭和十六年内令第四百三十一號第四根據地隊司令部ノ部中「第四根據地隊司令部」ヲ「第四艦隊司令部」ニ改メ同部末尾ニ「本人員ハ横須賀鎮守府在籍者ヲ以テ之ニ充ツ」ヲ加ヘ昭和十九年五月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十八年内令第二千八百三十八號中「第四根據地隊司令部」ヲ「第四艦隊司令部」ニ、

「兵曹長一人」ヲ「兵曹長一人」兵曹、水兵 八人」ヲ「兵曹長一人」(横須賀鎮守府在籍者)ニ改メ昭和十九年五月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十九年内令第二百三十九號中「第四根據地隊司令部」ヲ「第四艦隊司令部」ニ、「舞鶴」ヲ

「横須賀」ニ、「二〇〇」ヲ「五六二八」ニ改メ昭和十九年五月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十七年内令第六百八十三號、昭和十九年内令第六十號及同年内令第四百五號中「第四根據地隊司令部」ヲ「第四艦隊司令部」ニ改メ昭和十九年五月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令員

一九三三

0610

参照

昭和十六年内令第四百三十一號ハ第四十三警備隊等ニ人員臨時増置ノ件  
昭和十七年内令第六百八十三號ハ第五根據地隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件  
昭和十八年内令第二千八百三十八號ハ第四根據地隊司令部ニ人員臨時増置ノ件  
昭和十九年内令第六十號ハ第四根據地隊司令部(第四防空幹部員ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件  
昭和十九年内令第二百三十九號ハ第四根據地隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件  
同年内令第四百五號ハ第四根據地隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件

0611

内令員第九百七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第二千三百五十號及昭和十九年内令第三百八十五號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀海軍砲術學校(長井分校(假稱)ニ於ケル豫備生徒教育關係員ニ充ツベキモノ)

大 中 尉(水)

教官兼  
分隊長

二人(吳、佐世保鎮守府在籍者 各一)

中少尉(水)、兵曹長

附兼教官  
(教員)

四人(吳、佐世保鎮守府在籍者 各二)

兵

曹

(教員)

十四人

掌砲兵	高一〇	横須賀、吳、佐世保鎮守府在籍者 各一
掌帆兵(應)	高二	舞鶴鎮守府在籍者 各一
掌信號兵	高二	吳、佐世保鎮守府在籍者 各一
		横須賀、舞鶴鎮守府在籍者 各一

機關兵曹

(教員)

二人(掌機兵 高)(横須賀鎮守府在籍者)

兵曹、水兵  
機關兵曹、機關兵

二十人(特修兵適宜)

内令員

一九三五

0612

内令員

一九三六

工作兵曹、工作兵

二人(掌工兵(木具))

衛生兵曹、衛生兵

三人

主計兵曹、主計兵

十人

参照 昭和十八年内令第三千三百五十號ハ横須賀海軍砲術學校(豫備生徒教育ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件  
昭和十九年内令第三百八十五號ハ横須賀海軍砲術學校(長井分校(假稱)ニ於ケル豫備生徒教育關係員ニ充ツベキモノ)  
ニ人員臨時増置ノ件

0613



内令員第九百八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第七潜水戦隊司令部（潜水艦輸送物件搭載指導要員ニ充ツベキモノ）

中 少 尉（水） 附 一人

兵 曹、水 兵 六人（掌帆兵（應）二）

内令員

一九三七

0614



内令員

一九三八

内令員第九百九號

昭和二十年五月二十五日

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十九年五月二十三日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四航空戦隊司令部

齒科醫科尉官 附

一人

0615

内令  
第九百十號

内令員第九百十號

當分ノ間別表ノ海軍航空隊又ハ同分遣隊ニ於テ教育スル練習生ノ數別表標準ヲ超過スルトキハ事項發生一月前ヨリ其ノ練習生教育期間左ノ各號ニ依リ當該海軍航空隊ニ人員ヲ臨時増置ス但シ練習生ノ數前記ニ充タザルトキハ左ノ各號ニ準ジ人員ヲ臨時減員ス  
昭和十八年内令第六百四十八號ハ之ヲ廢止ス  
本令ハ昭和十九年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一 練習生千五百人(端數七百五十人以上ハ千五百人ト看做ス)ニ付左ノ人員

教	官	隊(附兼)教官
中少佐	一人	
兵科尉官	一人	中少尉(水) 一人
軍醫科尉官	一人	

内令員

一九三九

0616

内令員

一九四〇

二 練習生百五十人(端數七十五人以上、百五十人ト看做ス)ニ付左ノ人員

教官兼分隊長	隊附兼教官(教員)	(教員)	其ノ他
少佐、大尉 一人	中少尉(水)、兵曹長 一人	兵曹 二人(掌帆兵、掌信號兵)	衛生兵曹、衛生兵 一人

三 練習生六十人(端數三十人以上、六十人ト看做ス)ニ付主計兵曹、主計兵 一人

四 練習生五十人(端數二十五人以上、五十人ト看做ス)ニ付兵曹(教員) 一人(掌電信兵)及整備兵曹(教員) 一人(掌整備兵)

五 練習生三十人(端數十五人以上、三十人ト看做ス)ニ付兵曹(教員) 一人(掌砲兵又ハ掌測的兵)

(別表)

飛行豫科練習生標準員數	
土浦海軍航空隊	九、〇〇〇人
三重海軍航空隊	九、〇〇〇人
美保海軍航空隊	九、〇〇〇人

0617

内令員

松山海軍航空隊	九、〇〇〇人
鹿兒島海軍航空隊	九、〇〇〇人
三重海軍航空隊奈良分遣隊	九、〇〇〇人
福岡海軍航空隊	五、〇〇〇人
三重海軍航空隊滋賀分遣隊	五、〇〇〇人
鹿兒島海軍航空隊小富士分遣隊	五、〇〇〇人
三重海軍航空隊西ノ宮分遣隊	一、五〇〇人
松山海軍航空隊宇和島分遣隊	二、〇〇〇人

参照 廢止内令ハ土浦海軍航空隊等ニ於テ教育スル飛行豫科練習生教育ノ爲人員臨時増減スルコトヲ得ルノ件ナリ

一九四一

0618

内令様  
要登載

内令員第九百十一號

特設艦船部隊定員令申左ノ通改正セララル

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設通信隊定員表共ノ二中「第二十四」ノ下ニ「第三十二」ヲ加フ

(内令提要別冊一〇一四頁参照)

内令員

一九四三

0619

内令提  
受登

内令員

一九四四

内令員第九百十二號

特設艦船部隊特修兵配置表ノ件中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表特設通信隊ノ部中「第二十四」ノ下ニ「第三十二」ヲ加フ  
同表備考第二十一號表中「第二十四」ノ下ニ「第三十二」ヲ加フ

(内令提要別冊一〇四六頁参照)

0620

内令員第九百十三號

昭和十八年内令第二千二百三十八號ハ之ヲ廢止ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 昭和十八年内令第二千二百三十八號ハ横須賀鎮守府在籍伊號第三百六十一潛水艇ニ當分ノ間定員ヲ監カズノ件ナリ

内令員

一九四五

0621



内令  
要登

内令員第九百十三號 (後送ス)

内令員第九百十四號

海軍定員令中左ノ通改正セラレ

昭和十九年五月二十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等驅逐艦定員表其ノ九中「竹」ノ下ニ「桐」ヲ加フ

(内令提要別冊三七二ノ二頁参照)

内令員

一九四七

0622

内令提  
要登載

内令員

一九四八

内令員第九百十五號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十七日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

特修兵配置表其ノ十四中「竹」ノ下ニ「桐」ヲ加フ

(内令提要別冊四九六頁参照)

0623

内令員第九百十六號

昭和十九年五月二十七日  
内令第九百十六號

横須賀鎮守府在籍

驅逐艦 桐

右當分ノ間定員ヲ置カズ

昭和十九年五月二十七日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

内令員

一九四九

0624

内令提  
要登載

内令員

一九五〇

内令員第九百十七號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十九年五月二十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

掃海艇定員表共ノ一中「第三十三號」ノ下ニ「第三十九號」ヲ加フ

(内令提要別冊四〇六頁参照)

0625

内令  
載

内令員第九百十八號

特修兵教員配置規則申左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十八掃海艇ノ部中「第三十三號」ノ下ニ「第三十九號」ヲ加フ

(内令提要別冊五〇四頁参照)

内令員

一九五一

0626

内令員

一九五二

内令員第九百十九號

安浦海兵團(假稱)、平海兵團(假稱)、大湊海兵團(假稱)及大阪海兵團(假稱)ノ定員表ヲ各別表ノ通假定ス

前項ノ海兵團設立準備員ニ充ツル爲必要ニ應ジ左ノ上欄ニ掲グル海兵團ニハ各共ノ相當ノ下欄ニ掲グル廳ニ出仕又ハ附(當該海兵團ノ分隊長、教官又ハ團附ヲ兼務ス)トシテ夫々別表定員ノ範圍内ノ人員ヲ臨時増置スルコトヲ得

安浦海兵團(假稱)	吳鎮守府(兼 <sup>七行</sup> 豊海兵團)
平海兵團(假稱)	舞鶴鎮守府(兼舞鶴海兵團)
大湊海兵團(假稱)	大湊警備府
大阪海兵團(假稱)	大阪警備府(兼吳海兵團)

昭和十九年五月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

(別表四葉添)

0627

(別表)

(昭和十九年内令員第九百十九號)

大湊海兵團(假稱)定員表(假定)

考 備	計		團附兼教官				教官				分隊長				軍醫長				分隊長		內務長		副官		副長兼教頭		長					
	特務士官	士官	主計中少尉(主)	衛生中少尉	中少尉(工)	中少尉(機)	中少尉(水)	主計中少尉	軍醫科大尉	軍醫科大尉	兵科佐官大尉	中佐	主計少佐	主計中少佐	主計中少佐	軍醫少佐	軍醫中少佐	軍醫中少佐	大尉	少佐	中少佐	少佐	大尉	少佐	大尉	少佐	大尉	少佐	大尉	少佐	大尉	少佐
	十五人	五十人 内兼務二十一人	二	一	一	三	八	兼務三	兼務十六	兼務二	兼務一	一	二	一	四	一	一	六	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
兵	下士官	准士官	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	水兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	
三百五十一人	二百二人	十二人	五十五	十八	八	六十	二十	二十	十三	八	三十六	百二十五	二	一	一	二	六															

一 分隊長ハ左ノ區分ニ從ヒ特務士官タル大中尉ヲ以テ補スルコトヲ得  
 兵科分隊長 大中尉(水) 十二人、大中尉(機) 三人  
 軍醫科分隊長 衛生大中尉 一人  
 主計科分隊長 主計大中尉(主) 二人  
 二 士官タル兼務教官ハ副官又ハ内務長、軍醫長、主計長及各科分隊長ノ兼務トス  
 三 准士官ハ教員ニ充ツ

(別表)

(昭和十九年内令員第九百十九號)

大阪海兵團(假稱)定員表(假定)

考 備	計		團附兼教官					教 官																		
	特 務 士 官	士 官	主 計	衛 生	中 尉	中 尉	中 尉	主 計	軍 醫	軍 醫	兵 科 佐 官	中 佐	分 隊 長	主 計	主 計	主 計	主 計	分 隊 長	軍 醫	軍 醫	分 隊 長	內 務 長	副 官	副 長 兼 教 頭	長	
一 分隊長ハ左ノ區分ニ從ヒ特務士官タル大中尉ヲ以テ補スルコトヲ得 兵科分隊長 大中尉(水)十二人、大中尉(機)三人 軍醫科分隊長 衛生大中尉 一人 主計科分隊長 主計大中尉(主)二人 二 士官タル兼務教官ハ副官又ハ内務長、軍醫長、主計長及各科分隊長ノ兼務トス 三 准士官ハ教員ニ充ツ	十五人	五十人 内兼務三十二人	二	一	一	三	八	兼務三	兼務二	兼務十六	一	二	一	四	一	一	六	九	一	一	一	一	一	一	一	一
	兵	下 士 官	准 士 官	主 計 兵	衛 生 兵	工 作 兵	機 關 兵	水 兵	主 計 兵 曹	衛 生 兵 曹	工 作 兵 曹	機 關 兵 曹	兵 曹	主 計 兵 曹	衛 生 兵 曹	工 作 兵 曹	機 關 兵 曹	兵 曹	主 計 兵 曹 長	衛 生 兵 曹 長	工 作 兵 曹 長	機 關 兵 曹 長	兵 曹 長			
	三百五十一人	二百二人	十二人	五十五	十八	八	六十	二百十	二十	十三	八	三十六	百二十五						二	一	一	二	六			



(別表)

平海兵團(假稱)定員表(假定)

(昭和十九年内令員第九百十九號)

考 備	計			國附兼教官 中 少 尉(水) 二十 中 少 尉(機) 七 中 少 尉(工) 二 衛生 中 少 尉 三 主計 中 少 尉(主) 五	教官 中 佐 一 軍醫科 大 尉 官 兼務四 軍醫科 大 尉 官 兼務五 主計科 大 尉 官 兼務三 海軍 教 授	分隊長 主計 大 尉 二 主計 少 佐、主計 大 尉 四 主計 中 少 佐 一	主計長 主計 中 少 佐 一	團附 軍醫科 尉 官 十二 齒科醫科 尉 官 一	分隊長 軍醫 中 少 佐 一 軍醫 少 佐、軍醫 大 尉 三	軍醫長 軍醫 中 少 尉 十三	分隊長 大 尉 二十六 少 佐、大 尉 一	內務長 中 少 佐 一	副官 少 佐、大 尉 一	副長兼教頭 大 尉 一	長 少 將 一					
	特務士官	高等文官	士官													水 兵 二百五十二 機 關 兵 八十 工 作 兵 二十 衛 生 兵 三十 主 計 兵 百五十八	助 教 員 十	兵 曹 長 十一 機 關 兵 曹 長 四 工 作 兵 曹 長 一 衛 生 兵 曹 長 二 主 計 兵 曹 長 三	兵 曹 三百八十五 機 關 兵 曹 百十七 工 作 兵 曹 十二 衛 生 兵 曹 三十 主 計 兵 曹 六十二	
	三十七人	三人	內兼務五十八人 兼務五十八人																	准 士 官 二十一人 下 士 官 六百六人 判 任 文 官 十三人 兵 五百四十人
	一 分隊長ハ左ノ區分ニ從ヒ特務士官タル大中尉ヲ以テ補スルコトヲ得 兵科分隊長 大中尉(水)二十九人、大中尉(機)九人、大中尉(工)一人 軍醫科分隊長 衛生大中尉 三人 主計科分隊長 主計大中尉(主)五人 二 士官タル兼務教官ハ副官、内務長、軍醫長、主計長及各科分隊長ノ兼務トス 三 准士官ハ教員ニ充ツ																			

(別表)

安浦海兵團(假稱)定員表(假定)

(昭和十九年内令員第九百十九號)

考 備	計			團附兼教官 中少尉(水) 二十 中少尉(機) 七 中少尉(工) 二 衛生中少尉 三 主計中少尉(主) 五	教官 中佐 一 軍醫科大尉 四 軍醫科大尉 四 主計科大尉 三 主計科大尉 三 海軍教授 三	分隊長 主計大尉 二 主計少佐、主計大尉 四 主計中少佐 一	團附 軍醫科尉官 十二 齒科醫科尉官 一	分隊長 軍醫中少佐 三 軍醫少佐、軍醫大尉 一	軍醫長 軍醫中少尉 十三 大尉 二十六	分隊長 少佐、大尉 一	內務長 中少佐 一	副官 少佐、大尉 一	副長兼教頭 大尉 一	長 少將 一								
	特務士官	高等文官	士官												兵曹長 十一 機關兵曹長 四 工作兵曹長 一 衛生兵曹長 二 主計兵曹長 三	兵曹 三百八十五 機關兵曹 百十七 工作兵曹 十二 衛生兵曹 三十 主計兵曹 六十二	水兵 二百五十二 機關兵 八十 工作兵 二十 衛生兵 三十 主計兵 百五十八	准士官 二十一人 下士官 六百六人 判任文官 十三人 兵 五百四十八				
	一 分隊長ハ左ノ區分ニ從ヒ特務士官タル大中尉ヲ以テ補スルコトヲ得	二 士官タル兼務教官ハ副官、内務長、軍醫長、主計長及各科分隊長ノ兼務トス	三 准士官ハ教員ニ充ツ																兵	准士官	水	准士官
	一 兵科分隊長 大中尉(水)二十九人、大中尉(機)九人、大中尉(工)一人	二 軍醫科分隊長 衛生大中尉 三人	三 主計科分隊長 主計大中尉(主)六人																判任文官	下士官	機關	准士官

内令様  
表登

内令員第九百二十號

海軍定員令中左ノ通改正セラレ

昭和十九年五月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

掃海艇定員表其ノ一中「第三十三號」ノ下ニ「第三十四號」ヲ加フ

(内提令要別冊四〇六頁参照)

内令員

一九五三

0632

内令撰  
要登載

内令員

一九五四

内令員第九百二十一號

特修兵教員配置規則申左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十八掃海艇ノ部中「第三十三號」ノ下ニ「第三十四號」ヲ加フ

(内令提要別冊五〇四頁参照)

0633